

杉並区立杉並和泉学園

令和6年度 卓球 部の活動方針・活動計画

令和6年4月1日

1 指導体制

| 顧問教諭等氏名 | | 外部指導者氏名 | 資格等や経験 | 頻度 |
|---------|-------|---------|--------|-------|
| 顧問 | 師岡 真一 | 脇ノ谷 大河 | 指導歴4年 | 週1日程度 |
| 顧問 | 原田 栞里 | | | |
| 顧問 | 帖佐 佑真 | | | |

2 部員数 1年生 人 2年生13人 3年生17人 合計36人

(令和6年4月末現在)

| | 男 | 女 | 合計 |
|----|----|---|----|
| 1年 | 4 | 0 | 4 |
| 2年 | 8 | 5 | 13 |
| 3年 | 13 | 4 | 17 |
| 合計 | 25 | 9 | 34 |

3 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた生徒像
自分に関係している様々な人たちへの感謝の念を養うとともに同じ部員同士で活動することによるコミュニケーション力の育成
学年、男女混合で活動し互いの良さを認め合い目標に向かって活動していく。
- (2) 大会などの到達目標
各種大会での入賞。団体戦の都大会出場。

4 活動方針

- (1) 生徒の自主性・自発性を大切にした活動を行う。
- (2) 学年の過度な序列や生徒間の暴力・暴言、教員の体罰等を確実に無くし、部員生徒が毎日の部活動を待ち望む活動を行う。
- (3) 運動部活動において、生涯スポーツとして、心身の健康を保持・増進し、明るく豊かなスポーツライフを実現しようとする態度等を育む。

5 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料(DVD)を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。暴言についても同様に指導する。
- (3) 事故防止・安全配慮
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。また、危険な行為、周囲への安全配慮が足りない行為がある場合には厳しく対処し怪我の防止に努める。

6活動計画

- (1) 活動日：月、火、木、金、土曜日
- (2) 活動時間： 平日 16:00～18:00 (2時間)
休日 8:30～11:30 (3時間)
- (3) 休養日：水曜日・日曜日
(ただし、日曜が大会の時土曜に練習があるため、月曜日が休養日となる)
- (4) 年間活動予定

| 学 期 | 月 | 内 容 [種目] (主催者) |
|------|----|-------------------------------|
| 1 学期 | 5 | 杉並区新人戦 [個人戦] (杉並区卓球連盟) |
| | 6 | 杉並区選手権卓球大会 [個人戦 団体戦] (杉並区中体連) |
| | 7 | 東京都選手権卓球大会 |
| | 8 | 練習試合等 |
| 2 学期 | 9 | 練習試合等 |
| | 10 | 練習試合等 |
| | 11 | 杉並区新人卓球大会 [個人戦、団体戦] (区大会) |
| | 12 | 新人戦都大会 (個人戦) |
| 3 学期 | 1 | 新人戦都大会 (団体戦) |
| | 2 | 杉並区研修大会 (区大会) |
| | 3 | 練習試合等 |

(5) 参加予定大会

区大会は原則、全員参加または応援。都大会は出場生徒のみ参加、応援。中体連の区大会は年に3試合、それ以外に、練習試合や他地区のオープン大会等に参加する場合があります。

(6) 部活動活性化事業実施に伴う外部指導員 (コーチ) の指導について

本年度より、部活動活性化事業を活用した外部指導員 (コーチ) による指導を行っていきます。本件に伴い、参加申込書兼同意書の記入、提出をお願いいたします。

(7) 部活の活動日数、曜日の変更について

本年度の活動について、部活動の活動日数、曜日について変更を検討しています。

- ・現在の活動日数の変更 (例：練習日 週5日→週4日)
- ・外部指導員の指導が受けやすい曜日へ練習日を変更する 等